

新ショールーム内覧会・Fantic 取扱開始のご案内

平素より株式会社サイン・ハウスへのご取材、ご協力いただき誠にありがとうございます。
サイン・ハウスショールーム移転に合わせ、イタリアのオートバイメーカー「Fantic」の取扱を開始いたしますのでご案内いたします。



なお、本件の情報の公開は **2019年3月28日(木)以降**とさせていただきます。
最後に新ショールーム内覧会及び、Fantic 発表会の出欠のご回答もあわせてご協力の程宜しくお願いいたします。

【お問い合わせ先】 株式会社サイン・ハウス

広報：和田（わだ） wad@bolt.jp

車両事業部 FANTIC：栗原（くりはら）



本物志向なのにストリートにも映える「Fantic」が来日！

株式会社サイン・ハウス（代表取締役社長・野口英康、東京都世田谷区）は Fantic Motor Ltd 社と正規輸入代理店契約を締結し、2018 年 4 月より Fantic 製品の取り扱いを開始、日本国内で販売いたします。



Fantic Motor Ltd は 1968 年にイタリアで創業されたオートバイメーカーです。1975 年にはモトクロスレースのワークスチームを結成し、1981 年の ISDE (International Six Days Enduro) では最高位のワールドトロフィーを獲得。さらにはヨーロッパのエンデューロ選手権でも勝利するなど確固たる地位を確立しました。トライアルマシンの開発にも着手しトライアル世界選手権では 1985 年、86 年、88 年と 3 度のタイトルを獲得しています。

Fantic はハイパフォーマンスなマシンによりレースシーンで成績を残しファンも多く抱えています。しかしながら、販売戦略の見誤りにより二度の会社再建を余儀なくされました。

そして三度目となる今回、59 名の企業家からなる合資会社 VeNetWork が 100% 出資し経営再建に乗りだしました。VeNetWork は総売上 30 億ユーロに上る一大グループで、その傘下にはイタリアトップクラスのテキスタイルメーカー・Marzotto（マルゾット）、アパレルブランドの HUGO BOSS（ヒューゴ ボス）、登山靴メーカーとして名高い GARMONT（ガルモント）などを有します。

Fantic の妥協ないマシン作りは、細部までこだわった、実に高い品質を備えています。サイン・ハウスは、その作りの良さに惚れ込み、一人でも多くのユーザーに本物がもつ走りの楽しさ、所有する喜びを感じてほしいと考え、日本における総代理権並びにブランド使用权を独占契約することに成功しました。

「Caballero」ブランドから2タイプと Fantic の「Enduro」を取扱

取り扱う車両は Fantic の Caballero（キャバレロ）ブランドからリリースされる「Scrambler（スクランブラー）」と「FratTrack（フラットトラック）」。さらに Fantic 直系となる「Enduro（エンデューロ）」の3つのラインから構成されます。

Scrambler



Scrambler（スクランブラー）は、オフロードモデルがまだ存在しなかった時代に砂利などの未舗装路面でも走れるようアップマフラーを装着し、ブロックパターンのタイヤを採用したマシンをデザインモチーフとしたモデルです。ただ、これからリリースされる Fantic Scrambler がこれらと異なるのは、ストリートモデルの派生モデルではなく、スクランブラーとして作り込まれてきたこと。したがって、ストリートモデルに由来しない軽快感、バランス、自在な操作性など、あたかもオフロードモデルかのようなハンドリングが自慢でありながら、オープンエリアをどこまでも走り続けることができるような旅バイクとしての魅力にあふれています。



4 ストローク水冷単気筒エンジンを搭載。排気量は 125cc、250cc、500cc をラインナップ。中でも Scrambler 500 に搭載されるエンジンは Fantic がこの Caballero シリーズのために全く新規に開発したエンジンです。もちろんいずれのエンジンも最新の環境規制、Euro4 を楽々とクリアする仕様。エンジン・マネージメントはオフロード・レースシーンでもよく知られた Athena/GET の ECU がコントロールします（125 ccはキャブレター）。ホイール径にフロント 19 インチ、リヤ 17 インチを用いたことで、オフロード向けタイヤの豊富な選択肢も魅力。

メーカー	Fantic		
ブランド	Caballero		
車名	Scrambler125	Scrambler250	Scrambler500
エンジン	4ストローク水冷単気筒		
排気量	124.45cc	249.6cc	449cc
タイヤサイズ	フロント	110/80-19	
	リヤ	130/80-17	140/80R17
シート高	820 mm		
乾燥重量	130kg	140kg	150kg
価格(税込)	79万円	89万円	110万円

FratTrack



FratTrack (フラットトラック) は、アメリカ発祥といわれるフラット (ダート) トラックレースで走っていたマシンが原点になっています。フラット (ダート) トラックレースとは、1 周 3/8 マイル (約 600m) のフラットに固められた土の路面 (ダート) で作られたオーバルコースを左周りに周回し、順位を競うレースです。

4 ストローク水冷単気筒エンジンを採用し、ホイール径はフロント、リヤともに 19 インチを採用。ロードマシンに多く採用されている 17 インチよりもホイールの直径が大きいことでコーナーリングでの安定性が高く、リヤをスライドさせた時のコントロール性も良好とあって、ダートトラックレースでは 19 インチのホイールを履くことは必須の装備なのです。安定性とコントロール性の高さから街中からワインディング、高速道路、一般的な林道まで幅広く楽しめます。



ダートトラックマシンを模したモデルは、そのクールなスタイリングと相まって過去にも多くのメーカーがラインアップしてきましたが、フロントとリアタイヤに 19 インチを履いているのは、Fantic Flat Track だけ。サイド・ゼッケンにデザインされたナンバー 19 がこうした本物であることを高らかに主張しています。排気量は 125cc、250cc、500cc をラインナップ。

メーカー	Fantic		
ブランド	Caballero		
車名	FratTrack125	FratTrack250	FratTrack500
エンジン	4ストローク水冷単気筒		
排気量	124.45cc	249.6cc	449cc
タイヤサイズ	フロント	130/80-19	130/80-19
	リア	130/80-19	140/80-19
シート高	840 mm		
乾燥重量	130kg	140kg	150kg
価格(税込)	79万円	89万円	110万円

Enduro



Enduro(エンデューロ)は、公道走行できる保安部品を装備したオフロードモデルです。世界のトップブランドのラインアップからストリート・リーガルのオフロードモデルが消えていく昨今、一方で市場からはオフロードモデルを求める声は決して少なくはありません。何よりも軽量な車体、扱いやすいエンジン、良好な視界といった特徴は、コンペティション（競技）を志向しない幅広いユーザー層からの支持を得ているのです。Fantic ではこうした、オフロードを走る楽しみを大切にするユーザーに向け、ハイグレードな作りで所有感を高めながらも、スロットルの開度を急かされることのない、大人のトレールバイクを用意しました。

Enduro シリーズは 4 ストローク水冷単気筒エンジンを採用。ホイール径はフロント 21 インチ、リヤ 18 インチで、オフロードモデルでは通称フルサイズといわれる一般的なサイズになっています。排気量は 125cc と 250cc をラインナップ。

メーカー	Fantic	
ブランド	Fantic	
車名	Enduro125	Enduro250
エンジン	4ストローク水冷単気筒	
排気量	124.45cc	249.6cc
タイヤサイズ	フロント	90/90-21
	リヤ	120/80-18
乾燥重量	95kg	104kg
価格(税込)	未定	

サイン・ハウスの新しい試み



株式会社サイン・ハウスは 1987 年 2 月に創業、2019 年には 32 周年を迎えるオートバイ向けアクセサリ・パーツメーカーです。その歴史は、日本に紹介されていない海外のプレミアムなオートバイ向けアクセサリブランドを紹介するところから始まりました。(株)サイン・ハウスの創業者である白松和豊は、そのレースメカニックとしての経験から、特徴ある商品を選ぶだけでなく、例えばロードレース世界 GP でスズキ・ファクトリーを率いてチャンピオンを獲得してきたロベルト・ガリーナが開発した GP マシンのようなロードモデル「ガリーナ TGA6」シリーズの輸入販売を手掛けるなど、幅広い事業を展開してまいりました。同時に、ただインポーターとして、あるいは商社としてオートバイユーザーに商品を届けるだけでなく、手に入らないものは自ら作り出してユーザーの痒い所に手が届くよう、オリジナルの商品を数多く開発。特に、ライダーにとってツーリングの楽しみ方を根底から変える対話可能なインカム「B+COM(ビーコム)」シリーズは多くのモーターサイクリストの支持を受け、ベストセラーとなっています。ビーコムはその扱いやすさ、音質の良さ、スタイリングの秀逸さと、日本初のブランドならではの手厚いカスタマー・サポートから、このジャンルでは圧倒的なシェアを誇る商品です。

「ものづくり」の原点を部品・用品のみならず車両へと広げていく計画の第一弾としてモダンかつスタイリッシュなランブレッタ・スクーターという素晴らしいブランドを取り扱っていますが、その第二弾としてイタリアンブランドの Fantic が加わりました。車両取り扱いだけでなく、同時に遊びの場も設けていく予定です。ご期待ください。

サイン・ハウスショールームで車両が見られます



Fantic 車両はサイン・ハウスショールームでご覧いただけます。また、ご取材、撮影などの車両の貸出なども行うことができます。下記までご遠慮なくお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社サイン・ハウス

〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布2-9-14

TEL:03-5483-1711 FAX:03-5483-1712

広報：野口（のぐち）、和田（わだ）

サインハウス・ショールーム（2019年3/30オープン予定）

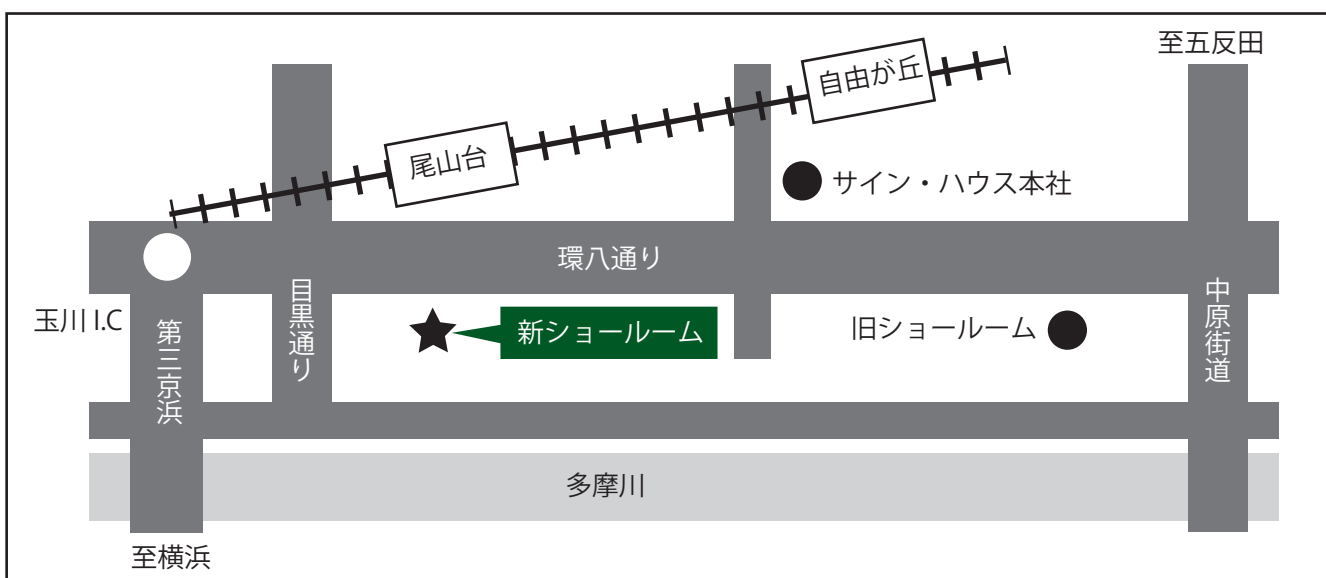
〒158-0086 東京都世田谷区尾山台 2-32-15

TEL:03-3721-1770

営業時間：10:00 - 18:00

定休日：毎週 火曜日・水曜日・祝祭日

担当：橋詰（はしづめ）、栗原（くりはら）



新ショールーム内覧会・Fantic 発表会詳細



新ショールーム内覧会及び Fantic 発表会に、以前行った試乗会に引き続き、西荻窪の cafe&dinner 「BUNNYBEACH(バニービーチ)」が出張出展して下さることになりました。

当日はバニービーチ特製の軽食をお楽しみいただきながら、プレスプレゼンテーションを行いますので、是非ご参加ください。

開催日時：2019年3月27日(水)・3月28日(木)

開催時間 11：30 受付開始 (撮影可能です)

12：00 ランチ

13：00 プレゼンテーション (Fantic、新ショールームなど)

14：00 プレゼン終了 (予定)

開催場所：サイン・ハウスショールーム 〒158-0086 東京都世田谷区尾山台2-32-15

※駐車場・駐輪場がないため、近隣のコインパーキングを使用していただくか、公共機関をご利用ください。

出欠確認

お忙しいとは思いますが3月19日(火)までにFAX、またはメールにて返信お願いいたします。

FAX:03-5483-1712 / Mail:wad@bolt.jp 担当：和田

ご出席(3/27) ・ (3/28) ・ ご欠席

会社名：

媒体名：

住所：

電話番号：

参加者名：